

日中はまだ暑さが感じられる日もありますが、朝晩には秋の気配が感じられるようになりました。子どもたちは、運動会や現場実習、宿泊学習、そして日々の学習に意欲的に取り組んでいます。本校のセンター的機能による地域支援についても、2学期に入り、学校園を訪問する機会が増えています。子どもたちのよりよい育ちのために、共に支援のあり方を考えていけたらと思います。どうぞお気軽にご相談ください。



学校行事予定



令和7年11月

- | | |
|--------------------------|---|
| 2（日）創立記念日 | 17（月）高2 職能評価（～20）
作業療法相談 |
| 4（火）オープンスクール（～5） | 外部人材の参画による授業検討会 |
| 6（木）小6 修学旅行（～7） | 19（水）スクールカウンセラー |
| 7（金）PTA進路講演会
中1 給食試食会 | 20（木）高3 進路相談会（加古川）
運動機能相談 |
| 10（月）教育実習（～21） | 21（金）高3 進路相談会（稲美） |
| 12（水）言語指導相談 | 25（火）小3 校外学習
高3 進路相談会（明石）（～27）
高等部選挙活動期間（～12/8） |
| 13（木）小1 校外学習
高等部運動会予行 | 27（木）小6 天満東小との学校間交流 |
| 14（金）小5 JA交流
高等部運動会 | 28（金）高1 進路説明会 |



※行事や授業予定は今後変更もあります。変更時は本校 HP にてお知らせします。

いなみ野特別支援学校ホームページ

<https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/inamino-sn/>

QRコードはコチラ ⇒



～学習活動の様子 小学部～

3年生が生活単元学習で「買い物学習」に出かけました。100円ショップのひゃくえもんさんでは、保護者の方に頼まれたものを、絵カードを見ながら探して買う活動をしました。絵カードとお店の中の商品を見比べながら、「これかな？」「こっちだ！」と一生懸命に探す姿が見られ



ました。頼まれたものを自分で見つけて買うことができ、子どもたちは達成感いっぱいの表情をしていました。

コープさんでは、自分の好きなお菓子を1つ選んで買う体験をしました。たくさんのお菓子の中から「どれにしようかな」と迷いながらも、自分で選んで買うことができました。

また、どちらのお店でも、かごを持つ・お金を払う・買ったものを袋に入れるといった一連の買い物の流れを体験しました。実際のお店で学ぶことで、「買い物ができた！」という喜びや自信をもつことができました。みんなとてもよく頑張りました。



支援のタネ

立ったまま靴を履き替えることが難しい子や、足首がやわらかい子、足の筋肉が弱い子にとっては、「転倒しない体づくり」がとても大切です。というのも、転倒しない体とは、こけそうになったときに「おっとっと」と片足けんけんで体を支えたり、前に手をついてけがを防いだりできる体のことだからです。

そうした力を育てるためには、足の筋力を高める遊びや活動を生活の中に取り入れることがおすすめです。たとえば、階段を昇る／降りる、トランポリンでジャンプなど、楽しく体を動かすことで少しずつ「おっとっと」ができる体になっていきます。階段に怖さを感じる子には、低い段差を用意します。段差を昇る際には、支えになる足でしっかりと体重を支えること、一つ上の段に昇るために先に上げる足は太ももの筋肉を使うので、良いトレーニングになります。



ちょっとひとやすみ

※書影・書誌情報の掲載については
出版社より許諾を得ています。

自閉症児のこたばを育てる発達アプローチ こたばの6ステージ・特徴の理解と逆転の支援（著：矢幡 洋、出版社：ぶどう社）

本書は、自閉症児への言葉の働きかけ方を、やさしく、そして実践的に学べる一冊です。挿絵が多く、イメージしながら読み進めることができるため、専門書に慣れていない方にも親しみやすい内容になっています。たとえば、絵本の読み聞かせひとつ取っても、ちょっとした工夫が必要であることに気づかされます。「どのように声をかけたらよいか」「子どもの関心をどう引き出すか」など、日常の中で実践できるヒントがたくさん紹介されています。アメリカで応用行動分析に次ぐ大きな影響力をもつ発達アプローチという自閉症療育法に基づいており、理論と実践が自然に結びついた構成です。子どもの「わかる」「伝えたい」という気持ちを育てるための、温かく頼もしいガイドブックです。

自閉症児の こたばを育てる 発達アプローチ

